

# 2025年度三重大学「学生海外チャレンジ応援事業」報告書

| 計画タイトル※申請書と同じタイトルを記載すること | 採択コース |
|--------------------------|-------|
| 台湾のゴミに対する環境意識            | Aコース  |

| 学生情報     |                  |
|----------|------------------|
| 氏名       | 加藤 翔太            |
| 所属学部・研究科 | 工学部・総合工学科応用化学コース |
| 学年(出発時)  | 4年               |

| 渡航先情報     |                      |
|-----------|----------------------|
| 渡航先       | 台湾(台北、宜蘭、台南)         |
| 渡航先滞在期間   | 2025年9月1日～2025年9月11日 |
| 訪問先機関等    | 国立宜蘭大学、国立成功大学        |
| 訪問先機関での身分 | 学生                   |

| 渡航概要と内容  |
|--|
| <p>私は現在、研究室で持続可能な社会の実現に向けた研究を行っています。この研究を通じて、社会の環境問題の改善に貢献していきたいと考えています。今回の台湾での海外チャレンジは、日本の環境問題をより広い視野で捉えるための一歩でした。日本と同じ島国であり、文化的にも似ている台湾で、ゴミの分別やりサイクルに対する人々の意識と具体的な取り組みを学びたいと考えました。また、所属する分析環境化学研究室での研究テーマを深めるため、現地の大学の研究室を訪問し、研究手法や考え方の違いを肌で感じたいという目的もありました。</p> <p>11日間の滞在中、台北、宜蘭、台南の3都市を巡り、街中や公共施設でゴミ箱の設置状況を観察しました。台湾に到着してまず驚いたのは、街を歩いても、ゴミ箱が少ししか見当たらなかったことです。日本では、街中を歩いていけばいたるところにゴミ箱がありますが、台湾ではゴミ箱を見つける頻度が日本に比べて少なかったように感じます。また、飲食店ではコップを持参すると5元の割引を受けられたり、海洋保護への関心を高めるためのランニングイベントが開催されたりしているようです。これらの取り組みから、台湾の環境意識の高さを知ることができました。</p> <p>また、国立宜蘭大学と国立成功大学の2つの大学を訪問しました。宜蘭大学では、高分子やバイオエネルギー、プラズマの研究室を見学しました。特に、光触媒研究の経験がある教授から、実験器具の使い方を教えていただくことができ、とても勉強になりました。成功大学では、バイオマテリアルや液晶材料の研究を行っており、実際に実験を体験させていただくことで、専門分野の視野を広げることができました。</p> |
| 渡航により達成できたこと   |
| <p>今回の調査では、日本には見られない台湾独自の環境保護活動について知識を深めることができました。事前に調べて知っていた活動に加えて、現地で新たに知った活動があったり、アンケート調査を実施したりと渡航した価値のある調査になったと思います。</p> <p>研究面では、異なる研究分野に触れることで、自分の研究テーマを客観的に見つめ直す機会になりました。宜蘭大学で体験したHHVを求める実験や成功大学で体験した液晶の実験は、普段の研究室では触れることのない分野で、大きな刺激を受けました。</p> <p>また、初めての海外一人旅を通して、積極的に行動することの大切さを身をもって学びました。研究室の学生と英語で話すうちに、単語を並べたりジェスチャーを交えたりしながらでも、自分の考えを伝えられる喜びを感じました。これらの経験から、温かく接してくれる現地の学生たちとスムーズな意思疎通ができるようになりたいと感じるようになり、今後の英語学習へのモチベーションにつながりました。</p>   |

### 渡航を通じて感じたこと・学んだこと

台湾の街を歩いていて特に印象的だったのは、ゴミ問題へのアプローチが日本とは全く違うことでした。多くの店や公共の場所にゴミ箱がない一方、バス停や大学、ホテルの廊下には給水機があり、人々は当たり前のようにマイボトルを使っていました。また、飲食店でマイカップを持参すると割引になるサービスも、日本にはない発想で、ゴミを出さない工夫が社会全体に浸透していると感じました。

また、英語でのコミュニケーションに最初は不安がありました。実際に学生と交流する中で、拙い表現でも積極的に伝える姿勢の大切さを学びました。拙い英語を話してそれが相手に伝わったときには、達成感ともっと流暢に話したいという気持ちを感じました。英語だけでなく、現地の公用語である中国語についても、もっと語彙を増やしたいと感じました。

### 今回の経験を今後の学修及びキャリアパスの中でどのように活かしていくか

今回の経験は、私の中でとても貴重な経験になりました。初めて英語だけで生活する日々を過ごした結果、自分の英語力を上げるモチベーションに繋がりました。今回の台湾での研究室訪問では、自分の専門分野に関する説明を英語でうまく伝えられず、悔しい思いをしました。この経験から、自分の英語力の不足を痛感したため、英語の学習を今以上に頑張ります。

また、英語力に加えて、今回の経験で得た自信を大切にしたいです。初めての海外旅行、初めての一人行動、そして言葉の壁を乗り越えて人と交流した経験は、私に大きな自信を与えてくれました。今後は、困難な課題に直面しても、臆することなく積極的に解決策を探し、行動していきたいです。

研究面では、台湾における一般廃棄物についての調査が研究室で行われている持続可能な社会の実現に向けた研究と関連性が高く、自分の研究の意義を再確認することができました。そのため、今後の研究はより情熱をもって取り組んでいこうと考えています。

### この事業での渡航を考えている学生へのアドバイス

この学生海外チャレンジは自分に新しい視点を与えてくれる非常に貴重な機会になりました。私自身、今までに海外経験が全くなく、出発前は不安でいっぱいでした。しかし、この10日間で得られた経験は、人生を大きく変えるきっかけになりました。

現地で起こる全てのことが未体験であるため、自分で綿密に計画を立て、自分の力で生活することが求められます。私は今まで優柔不断な性格でしたが、あえてこのような環境に身を置くことで、自分が能動的に動く必要が出てきました。そのため、今までの自分に比べてより積極的に行動できるようになったように感じます。さらに、渡航費等の金銭的支援をいただいで日本の外に飛び出す機会はとても貴重なものです。もちろん、準備には時間も労力もかかりますが、それを乗り越えた先には、かけがえのない経験を得ることができます。もし興味があれば参加することをおすすめします。

### 計画全体にかかった費用(自己負担分も含めて、日本円で記載すること。)

|                       |          |
|-----------------------|----------|
| 渡航費(往復)               | 65,230円  |
| 海外旅行保険                | 6,343円   |
| 学費(教科書代や大学等プログラム授業料等) |          |
| 宿泊費                   | 85,751円  |
| 光熱費                   |          |
| 食費                    | 6,566円   |
| その他                   | 43,350円  |
| 合計                    | 207,240円 |